



四 国 研 部
えひめ

とべ 議会だより

第52号
平成30年(2018)
2月1日発行



【表紙の言葉】

子どもは風の子！ 寒さに負けず園庭で遊ぶのが大好き。縄跳びや羽根つき等昔ながらの遊びも楽しいよ。

(麻生幼稚園 古谷真梨子主任教諭)

12月定例会

- 台風災害早期復旧へ（補正予算）…………… 2 p
- 認定こども園設置ほか（委員会審査）…………… 3～5 p
- 5議員が町政を問う（一般質問）…………… 6～10 p
- 先進地に学ぶ（研修報告）…………… 12～13 p
- 女性団体連絡協議会と議会でもちづくりを語る …… 15 p

12月定例会 台風災害 早期復旧へ

	(補正)	(累計)
一般会計	1億8,626万円	86億7,483万円
特別会計	2,590万円	56億4,246万円
企業会計	△1億1,617万円	18億1,815万円
計	9,598万円	161億3,544万円

(四捨五入のため合計が一致しない場合があります)

12月7日から15日まで開催した。平成28年度各会計決算10件を認定。専決処分*1件を承認。報告1件を受理。愛媛県市町総合事務組合の規約変更及び、同組合の共同処理事務構成団体からの東温市の脱退に伴う財産処分について2件を可決。条例の制定1件、条例の一部改正6件、平成29年度一般会計補正予算、特別会計補正予算4件、企業会計補正予算2件を可決。請願1件を不採択とした。

※専決処分の内容 衆議院の解散に伴う衆議院選挙の経費および、台風18号の被害による災害復旧経費など4,449万円を、9月28日付で専決処分により予算を補正した。



古岩谷川 河川災害復旧工事



町道重光田の浦線 道路災害復旧工事



町道大谷谷上線 道路災害復旧工事



大内野畦畔 農地災害復旧工事

台風18号・21号による被害

■組織図新旧対照表

改正案	現 行
廃止	国体推進課
生活環境課	生活環境課
環境衛生係	環境衛生係
ごみ対策係(新設)	浄化槽係
浄化槽係	
上下水道課(新設)	
下水道管理係	下水道管理係
下水道工務係	下水道工務係
水道管理係	水道管理係
水道工務係	水道工務係

上下水道課を新設

条例の一部改正

◎課設置条例

佐々木(隆)

国体推進課が廃止されるまでの業務は？

A 後催県への説明会や実行委員会の解散総会を開催する。

中島

生活環境課に新設する係は、廃棄物係などイメージしやすい名称がよいのでは？住民にわかりやすい名称として、ごみ対策係を検討している。

森永

配置される職員数が増えるのか？

A 1人程度増員するかもしれない。

◎勤務時間、休暇等に関する条例

中島

条例改正に該当する職員はいるのか。

A 早出遅出勤務の利用者が2人いる。今後も職員が制度を利用することが予想される。

◎育児休業等に関する条例

佐々木(隆)

子どもが1歳6カ月到達し、復職していない非常勤職員がいるのか？

A 再任用短時間勤務の職員は2人いるが、該当する年齢の子どもはいない。

◎給与に関する条例等

柿本 給料は4月にさかのぼるのか？

A そのとおりである。

◎平成29年度一般会計補正予算

柿本

台風18号の被害は激甚災害指定されている。農業用施設復旧費の地元負担金は下がるのか？

A 下がると聞いている。

柿本

町土木建設事業等負担金条例の賦課基準が足かせとなり、災害申請を取り下げているのでは？

A 高齢化が進む地区の農道の地元負担金については、今後十分に検討したい。

◎その他

西岡

床上浸水の災害見舞金1万円の根拠は？

A 災害見舞金等支給規則により支給している。

三谷

消防車両の燃料給油は、夜間のことを考え、幅広く利用できるようにすべきでは？

A 夜間の給油を考慮し、契約外のガソリンスタンドを利用できるとしている。

※予備の燃料は18リットルであり、2台の車両で排水作業をしたが、補給が必要となった。



排水ポンプ車

三谷

消防団長の交際費には、町が負担できるものがあるのでは？

A 町が負担すべきものは負担している。伊予市や松前町の状況を確認する。

平成29年度補正予算

― 主な項目 ―

◆ 一般会計 ◆

◎ 地方債補正

・ 災害復旧事業債
(台風18号・21号の被害) 4420万円

・ 一般会計出資債
(上水道第8次拡張事業) △1600万円

○ 消防費

・ 伊予消防等事務組合負担金 103万円

台風被害甚大

早期復旧作業へ

◎平成29年度一般会計補正予算

佐々木(公) 台風被害の復旧状況は？

A 補助事業の査定中、農地農業用施設・道路ともに今月中に入札を行いたい。

松崎 道路復旧工事で単価が高い工事があるが？

A ガードレールも被災しているため若干高い。

松崎 農産物の被害額は？

A キウイフルーツに果実の傷が発生、ハウスが6棟被害で保険・自費にて対応。

佐々木(公) キウイフルーツでは果実落下やすり傷被害が発生しているが、被害に対する補助金はないのか？

A 対応する考えはない。

佐々木(公) 県植樹祭がゆとり公園あすなろ山であるが、参加者全員が植樹するののか？

A メイン木を30人、他の人は低木を植樹する。



昨年の植樹祭の風景（今治市）

松崎 町道日の出広瀬線に信号機は設置するののか？

A 設置に向けて協議中。

◎平成29年度公共下水道事業会計補正予算

菊池 動力費とは？

A 機械を動かす電力や燃料で通常の水道光熱費と区別するために用いている。

山口 来年度の国庫補助金の予測は？

A 8割が交付される予測。

◎平成29年度下水道事業会計補正予算

松崎 企業債利息を増額している理由は？

A 当初予算の計算ミスのため不足分を補正する。

平岡 射場から大南までの水道管工事で旧管の取替えは終了するののか？

A そのとおり。

◎その他

佐々木(公) 秋の砥部焼まつりの売上および反省点は？

A 砥部焼2400万円、町産品548万円で昨年より約900万円増、来場者の増により2日間とも車の渋滞が発生した。

佐々木(公) 女性団体連絡協議会との「議会とまちづくりを語る会」で、文化フェスタは来場者が少ない状況だったので、来年度以降は砥部焼まつりと同じ会場での開催要望があった。

A 関係課へ指示した。

平成29年度補正予算

— 主な項目 —

◆ 一般会計 ◆

○農林水産業費

・愛媛県植樹祭関係経費 60万円

・愛媛県土地改良事業団体連合会特別賦課金 2万円

○土木費

・道路橋りょう維持費 400万円

・道路橋りょう新設改良費 81万円

・公共下水道事業会計補助金 △1100万円

○災害復旧費

・道路災害復旧工事費 (補助事業) 5080万円

・普通河川災害復旧工事費 (単独事業) 200万円

・農業用施設災害復旧工事費 2400万円

・農業用施設災害復旧工事費 600万円

◆ 企業会計 ◆

○公共下水道事業会計補正予算

・処理場費 111万円

○水道事業会計補正予算

・企業債支払利息 11万円

・燃料費 7万円

認定こども園設置

条例の制定

◎認定こども園条例

井上 砥部こども園の設置により待機児童の問題は解消に向かうのか？

A 3歳以上児クラスを担当する職員を2人削減することが可能となり、待機児童対策に充てることができるが、待機児童が生じないという状況にはならないと考える。

東 認定こども園への移行が待機児童の解消にあまりつながらないようであるが、保育士の募集状況は？

A 本町の待機児童問題は保育士不足に起因するところが大きい。待遇面の条件を上げ募集しているが応募がないのが実情である。引き続き保育士の確保に努めたい。

◎平成29年度一般会計補正予算

原田 新学校給食センターの電気代の平均月額はいくら？



麻生小学校駐車場用地

A 9月の実績で163万円程度である。

政岡 就学援助費で、準要保護児童数は何人増えたのか？

A 小学校76人の見込みが84人で8人増、中学校55人の見込みが65人で10人増となっている。

井上 麻生小学校来客用駐車場の土地所有者が高尾神社であるが、問題はないのか？

A 神社庁と協議済で問題ない。

◎平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算

原田 伊予医師会の会費算出根拠と活動内容は？

A 昨年2月の総会で、月額4000円から1万3000円に改定されたための差額。町と関係する活動は学校医の推薦や休日当番医、講習会の開催などがある。

井上 休日当番医の利用状況は？

A 以前は町内で1カ所実施していたが、現在は伊予市、伊予郡で1カ所に変更されている。以前の制度の1日平均実績は平成26年度が22人、平成21年度、16年度が16人。（診療時間9時～15時）

◎請願の審査

「年金支給の毎月払い」「年金支給開始年齢の引き上げは行わないこと」を求める請願不採択

（意見）法律に基づいて支給されている。手数料や事務費が増える。年齢構成や社会情勢の変化に対応し、その時に政府が適切な判断をする。

平成29年度補正予算

— 主な項目 —

◆ 一般会計 ◆

- 民生費
- ・ 障害者自立支援給付費支給事業費 5562万円
- ・ 私立保育所広域保育委託料 552万円
- ・ 未熟児療育医療国庫負担金返還金 36万円
- ・ 総合福祉センター（仮称）建設事業費 34万円
- 教育費
- ・ 麻生小学校駐車場用地購入費 2703万円
- ・ 給食センター管理費 552万円

◆ 特別会計 ◆

- 国民健康保険事業
- ・ 国県負担金返還金 594万円
- 後期高齢者医療
- ・ 広域連合納付金 1763万円
- 介護保険事業
- ・ 認定審査会共同設置負担金 133万円



三谷 喜好 議員

長与町との姉妹都市提携を

町長／機運が盛り上がれば 検討する

姉妹都市関係を結ぶ事例がある。砥部焼をはじめとする町の歴史資源を有効に活用するため、また、町史を次世代へ継承するために、歴史関係を過去にさかのぼり、砥部という名の由来や砥部焼の起源に關係する国内自治体との姉妹都市提携を検討しては。

町長

今年は砥部焼磁器創業240周年の節目の年でもあり、東京でのイベントとして、千駄谷小学校で出張絵付けを行い東京都渋谷区との観光物産交流を始め

た。砥部町の将来像を描くためには、町の歴史を知ることが重要であり、その歴史を調査し

研究することは、大変意義のあることだと認識している。今年度から学芸員資格のある職員を採用し、しっかりと町の歴史を保存・伝承していく。今後、様々

な活動をとおり姉妹都市交流の機運が盛り上がれば、姉妹都市提携を検討したい。

三谷

砥部焼の現状を振り返ると、大洲藩が杉野仗助に磁器創業を命じたことに始まっている。当初、焼成技術がなく磁器が焼けなかったが、天草の長与焼の陶工7人を招き、その陶工たちの教えにより磁器創業に至った。提携先として、長与町を含め検討を。

町長

長与町ということだが、磁器に限らず過去の歴史関係を考慮し十分に検討したい。

三谷

長与町との姉妹都市提携は、町民に十分理解されると思う。陶工たちの悲運の最期を含め歴史を理解し、今任期中の姉妹都市提携を切望する。

出土品の現状、 今後の活用は

教育長／積極的に整理・ 展示を進める

三谷

私たちの先祖は、約2万年前から本町に住みはじめたと言われ、約9000年前の縄文時代早期前半の県内最古の住居跡が町内の土壇原で発見されている。町民に歴史ある砥部町を広く伝承するため、考古学の出前教室を開催する考えは。出土品の整理・展示の現状と今後は。

教育長

考古学の出前教室の開催の取り組みとしては、小学校の遠足などで水満田古墳公園を探索するときに、再現施設の高床式倉庫や竪穴住居の内部を公開し、

学芸員による説明を行っている。中学校では、発掘調査で出土した未整理物の洗浄・整理等による職場体験学習を行っている。今後、実施方法や学習内容など、学芸員と十分に研究したい。

現在、出土品は中央公民館講堂下の展示室で展示しているが、未整理の出土品が多数あるため、今後は学芸員



水満田遺跡他で発掘された弥生時代の土器

による整理・展示を積極的に進める。

三谷

私が問う出前教室というのは、小中学校を含め、一般の町民に町の足跡、生い立ちを知ってもらいたいという気持ちで提案したのだが。

教育長

出前教室や啓発講座の実施は、町民ニーズを把握し、担当課のアイディアも取り入れ進めたい。町内には素晴らしい考古学の先生もいるため、そういう先生の意見を聞きながら、町民に向けた学習会を検討したい。



田ノ浦古墳群で発掘された奈良時代の硯（すずり）



菊池 伸二 議員

肝炎対策について

町長／早期発見と早期治療が重要

菊池

肝炎及びC型肝炎は適切な治療を行わないまま放置すると慢性化し、肝硬変や肝がんにつながる恐れがあるとされており、肝炎ウイルス陽性者を早期に発見し、早期に治療することは重要である。肝炎ウイルス陽性者の発見と重症化について対策を講じているのか。

町長

肝炎ウイルスは感染した後、自覚症状がないまま慢性肝炎や肝硬変、肝がんへと重症化する恐れがある。そこで、40歳以上で過去に一度も検査を受けてない方を対象に、41歳から71歳までで、5歳刻みの節目年齢に達した方に、肝炎ウイルス検査が無料受診できる事業を実施し、早期発見に努めている。また、

検診の受診率を上げることが早期発見につながるの、申し込み方



集団検診

法にコールセンター方式や完全予約制を導入し、利便性や受診環境の改善に取り組んでいる。陽性と判定された方は、県が精密検査や治療を支援する事業を実施しているの、この事業を利用して医療機関で受診されるよう、検査結果の通知と併せて案内をしている。今後も集団検診を実施し、早期かつ適切な肝炎医療の受診につながるよう、関係機関と連携し重症化予防策の推進に努めたい。

成年後見制度の利用促進を

町長／平成33年を目処に策定

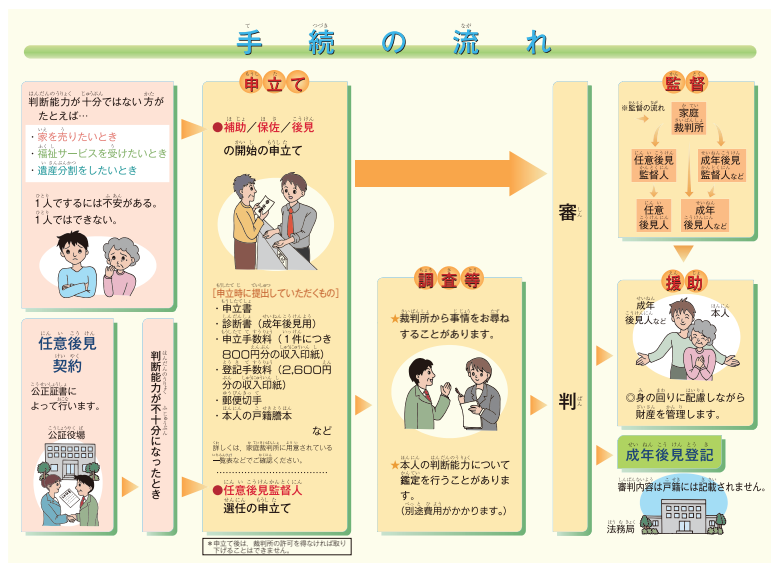
菊池

この制度は平成12年度に創設。認知症、知的障害、精神障害によつて判断力が十分でない方が不利益を受けないようにするために、その方を援助する人を家庭裁判所が選任し、法律面や生活面で支援する制度である。

今後この制度の必要性が高まる中、弁護士や司法書士だけでなく、多様な後見人を確保できるよう裁判所や各種専門機関と連携を強化すべきである。町では今後どのような課題認識を持ち、取り組んでいくのか。また、基本計画策定は。

町長

松山家庭裁判所の報



（裁判所のホームページより）

告によると、本町での制度利用者は25人である。この制度はもともと未成年者に対する制度であるが、高齢化・知的障害・精神障害の

増加、家族体系の変化により、今後利用者が増加すると思われる。今後は住民向けの勉強会の開催、啓発活動の推進、各種専門機関との意見交換を重ね、相談や支援体制を充実させる必要がある。また制度の基本計画策定は、国の工程表に基づき、平成33年度を目処に取り組みたい。

中小零細企業振興 基本条例の策定を

町長／今後の研究課題としたい



佐々木 隆雄 議員

佐々木

町内の中小企業は町の経済を支え、まちづくりや雇用の確保、災害時の助け合いなど、町民生活の向上に貢献し、町の発展にも大きく寄与してきた。しかし、少子高齢化や人口減少、競争の激化などにより極めて厳しい状況に直面している。各地方自治体で中小企業振興条例の策定が進んでいるが、本町でも制定してはどうか。

町長

条例制定の趣旨については、行政、商工団体、地域が商工業などの振興のためにそれぞれの立場での役割を宣言するものと承知している。県内の先進自治体の制定に至るまでの背景、効果、課題など具体的な情報収集や検証が必要であるため、今後の研究課題とさせていただきます。

えひめ国体などの効果や
今後の方向性は

町長／バドミントンを
ふるさとスポーツに

佐々木

国体や障がい者スポーツ大会にはたくさんの方が来訪したが、経済効果がどれくらいあったのか、また、今回の機会をこれからどう活用するのか。

町長

町独自のものはないが、607億1800万円と民間で推計したものがある。今後はバドミントン競技をふるさとスポーツとして定着させ、バドミントンの盛んな町を目指したい。2020年東京オリンピックでバドミントン競技の事前合宿の誘致事業も展開したい。

佐々木

武道場も含めて体育館改築、プレハブ設置など、工事請負金額とそのうちの町内業者の請負金額はどれくらいになったのか。

課長

約5億7400万円の事業費で、町内事業所が3億9472万円となっている。

佐々木

良くなった体育館の活用方法については。

町長

バドミントンについてはノウハウがあるので、全国的な大会の誘致や、また個人的には相撲なども考えたい。

空き家などの問題解決
国に申し入れを

町長／制度改正時には
迅速に対応

佐々木

相続人や登記人不明で手を付けられないといった問題が全国的にも大きくなっている。町では対応できないことがあり、国が早期に法改正なども含めた具体策を提示することが急務だと思う。町としてどう考えているのか。

町長

国では所有者不明の土地問題解消に向け、登記制度や土地所有者権のあり方など、関係省庁が一体となって研究、検討を行っており、町では国の動向を静観し、制度改正などが行われた場合には迅速に対応したい。



仮設観覧席



仮設ハウス・仮設通路



原田 公夫 議員

中学校教員の働き方改革は

教育長／負担軽減を進める

原田

教員の長時間勤務の実態調査によると、小学校の約3割、中学校の約6割が「過労死ライン」に達している。その原因は、授業時間の増加や部活動にかけるとの時間の増加とされている。長時間労働の改善策として、学校現場での「働き方改革」について、勤務時間の管理体制や部活動の運営体制、今後のあり方についてどのように考えているのか。

教育長

国、地方公共団体のみならず、家庭・地域を含めたすべての関係者が理念を共有し、それぞれ立場から速やかに取り組みを進めることが求められている。30年度において、タイムカールドの導入や※愛媛スクールネットワークへの参加により、校務改善を計画、教職員の負担軽減に努める



外部指導者を活用した部活動（砥部中学校）

こととしている。長時間労働の一因である部活動についても、休養日を設けるほか、人材活用で、現在バドミントン・卓球・ソフトボール部が外部「部活動指導員」の協力を得ている。また、毎年部活動再編計画により見直しを行い、少子化に伴う持続可能な運営体制を、地域の保護者の協力、社会教育関係団体との連携により、多岐にわたる教員の業務について役割分担を明確にし、負担軽減を進めていく。

財政運営の見通しは

町長／行政のスリム化に向け事務改善を推進

原田

少子高齢化が進む中、景気回復による交付税の減額が避けられない情勢であり、歳出改革が課題となっている。そんな中、公共施設等総合管理計画では、今後も財政改善に向けた方策を何も取らなかった場合、平成35年に赤字になるシミュレーションがある。後世に負担を残さないため、早めに財政改革に取り組む必要があるのでは。

町長

現在、総合福祉センターの建設、中央公民館の大規模改修、麻生保育所の改築などを進めており、次に庁舎

保健センター、老人福祉センターの改修、防災行政無線の更新がある。これらは建築してから相当年数が経過しているものや、法改正により更新等の必要が迫られているものである。これらの施設には多額の財源を必要とするので、他の施設の状態も勘案しながら、来年度に個別計画を策定して進めていく。

町税をはじめとする経常一般財源は減少傾向にあるものの、公共施設の老朽化対策や人口減少等による地域活性化対策など需要は拡大している。対策としては、税収等の一般財源を伸ばすことと、歳出を抑制することである。具体的には歳入面

で企業立地対策と使用料の適正化、歳出面で経常経費の削減である。事業効果の検証をしっかりと行い、効果の低い事業は廃止するとともに、人件費の削減を行う必要がある。事務の効率化や外部委託、住民団体への権限移譲など、行政のスリム化へ向けた取り組みが課題である。財政運営は予算のやりくりだけでなく、事務改善が大きく関与するため、職員一丸となって推進していく。



財政計画指針

※県内の小・中・高校をネットワークで結びインターネットで学習活動に活用できる教育専用ネットワーク

若者が希望をもてる農業を

町長／頑張る若者を応援



西岡 利昌 議員

西岡

中山間地域の農業は、海外や国内の大規模生産にはコスト面で太刀打ちできない。このままでは自給率の低下や農地の荒廃・担い手の減少などにより、安定的な食糧供給が確保できなくなる恐れがある。これまで取り組んできた担い手確保対策の成果及び農家の収入安定化など、若者が希望をもって農業に従事できる農業振興策を。

町長

耕作条件の悪い急傾斜地の耕作放棄が拡大しているが、いかに農地を活用し担い手を確保していくかが重要課題と考える。優良品種の苗木等、購入に対する補助やマルチ栽培の推進、次世代につなぐ果樹産地の育成を目指す施設導入支援など、市場競争力の高い産地づくりに取り組んでいる。地域農業の中

心である認定農業者に
対し農業機械や施設の
導入支援なども実施し
ている。

若い新規就農者支援
のため、奨学金や研修
資金の補助や機械・施
設への導入支援をして
いる。今後も農業者の
意見・要望を聞きなが
ら各種支援を行い、担
い手の確保・育成・持
続力のある農業振興に
取り組む。

西岡

若い人が農業で生活
できる環境、付加価値
の高いものを作る必要
がある。中東情勢によ
り重油価格が不安定な
ため、木材を利用した
固形燃料使用など危機
感をもった取り組みを。

町長

付加価値の高い紅ま
どんなにいち早く取り
組み、広田地区では高
原野菜栽培に後継者が
頑張つて取り組んでい
る。今後も若い農業者
を応援していく。

観光資源活用を

町長／魅力ある動物園へ

西岡

本町には観光資源が
あるがまだまだ活かし
きれていない。訪れる
人々の消費拡大を図れ
ば町内への経済波及効
果が期待でき、特にと
べ動物園は大きな集客
力がある。しかし現在
の入園者数は残念ながら
ピーク時の半分にな
った。動物園協会と
連携し集客力の強化を
図れば、交流人口の増
加が期待できる。交流
人口を活かした町の活
性化を。

町長

本年3月、魅力向上
に向けて「とべ動物園
魅力向上基金」が5億
円創設された。動物の
見せ方だけでなく、
ハード・ソフト両面か

ら集客につながる仕掛
けやアイデアを出す
ため、戦略を本年度策
定する予定で、私も検
討委員として参画し意
見提案をしている。戦
略結果を踏まえ、町と
しての連携支援策を提
案し集客力向上に取り
組みたい。

また「えひめこども
の城」や「県総合運動
公園」など観光やス
ポーツ観戦に訪れた
方々を町内へ誘客する
対策を講じ、交流人口
の拡大を図る。

西岡

動物園開園後30年が
経過している。年間で
通じて来園者があるの
で、魅力ある園にする
ためにも桜やもみじの
植樹や、砥部焼の絵付
け体験コーナーの設置

など、検討委員として
提案してはどうか。

町長

自然豊かな動物園と
して魅力を発信、高齢
者のための電気自動車
の導入など委員として
提案している。アンテ
ナショップとして「と
べの館」があり、県内
市町で観光PR施設が
あるのは本町だけであ
る。今後も県と協力し
魅力ある動物園を目指
す。



オランウータンのディディ君 ウォーキングタイム

平成
29年

議案等議員別表決結果一覧表
第4回 砥部町議会定例会
【会期12/7～12/15】

番号	件 名	1 柿 本	2 佐 々 木 公 博	3 原 田 公 夫	4 東 勝 一	5 菊 池 伸 二	6 佐 々 木 隆 雄	7 森 永 茂 男	8 松 崎 浩 司	9 大 平 弘 子	10 西 岡 利 昌	11 政 岡 洋 三 郎	12 山 口 元 之	13 井 上 洋 一	14 中 島 博 志	15 平 岡 文 男	16 三 谷 喜 好	議 決 結 果	議 決 日
認定 第1号	平成28年度砥部町一般会計決算認定について																		
認定 第2号	平成28年度砥部町国民健康保険事業特別会計決算認定について																		
認定 第3号	平成28年度砥部町後期高齢者医療特別会計決算認定について																		
認定 第4号	平成28年度砥部町介護保険事業特別会計決算認定について																		
認定 第5号	平成28年度砥部町とべの館特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	12/7
認定 第6号	平成28年度砥部町とべ温泉特別会計決算認定について																		
認定 第7号	平成28年度砥部町農業集落排水特別会計決算認定について																		
認定 第8号	平成28年度砥部町浄化槽特別会計決算認定について																		
認定 第9号	平成28年度砥部町公共下水道事業会計決算認定について																		
認定 第10号	平成28年度砥部町水道事業会計決算認定について																		
承認 第4号	専決処分第10号の承認について (平成29年度砥部町一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/8
議案 第42号	愛媛県市町総合事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/8
議案 第43号	愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/8
議案 第44号	砥部町認定こども園条例の制定について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第45号	砥部町課設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第46号	砥部町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第47号	砥部町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第48号	砥部町職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第49号	砥部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第50号	平成29年度砥部町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第51号	平成29年度砥部町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第52号	平成29年度砥部町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第53号	平成29年度砥部町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第54号	平成29年度砥部町浄化槽特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第55号	平成29年度砥部町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
議案 第56号	平成29年度砥部町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15
請願 第2号	「年金支給の毎月払い」「年金支給開始年齢の引き上げは行わないこと」を求める請願	×	×	×	×	×	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択	12/15
発議 第4号	砥部町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12/15

(○:賛成 ×:反対) ※議長は表決に加わっていません

研修報告

総務常任委員会



阪神淡路大震災を体験

この施設は、災害を「学ぶ」「体験する」「備える」をキーワードに、各種災害の疑似体験を通して、防災に関する知識や災害が発生したときの行動を学ぶことを目的に、平成22年度に開館しました。「国内で過去に起きた8種類の大きな地震の揺れ」や「震度1～7までの震度階級の揺れ」を体験できる「起震装置」の疑似体験を通して、災害に備えることの必要性和「自助」「共助」の重要性を改めて認識することができました。

10月18日 北海道千歳市 防災学習交流センター

10月17日
北海道芽室町議会
2014年度から3年連続で「議会改革度調査」ランキング第1位を獲得した芽室町の議会改革等について研修しました。「議会活性化計画」や「政策形成サイクル」をはじめとする議会改革の手法は学ぶところが多く、大変参考になりました。



議場にて

研修報告

厚生文教常任委員会



わくわくこども園（乳児部）

10月18日
山形県飯豊町
わくわくこども園
平成28年度から幼保連携型認定こども園を開設しています。ここは乳児部と幼児部の施設が車で5分ほど離れたところにあり、園長一人で離れた2つの施設を管理しなければならぬことや、兄弟で入園している家庭にとっては通園や行事などの課題はあるものの、父母会の役員と協議しながら幼稚園と保育所の良いところを活かし、認定こども園の運営に努めていました。

10月19日 東京都新宿区 あいじつこども園



あいじつこども園長と意見交換

平成22年度から幼保連携型認定こども園を開設しています。ここは隣接する幼稚園と保育所を通路でつないだ施設で、小学校の旧施設を活用しています。地域交流館や児童館を併設し、充分な広さの遊戯室や、園庭には緑の樹木もあるなど、立派な施設でした。

本町も平成30年度から幼保連携型認定こども園を開設予定であり、飯豊町のわくわくこども園、新宿区のあいじつこども園は、ともに学ぶところが多く、大変参考になりました。

11月1日～2日
和歌山県かつらぎ町議会

◆議会基本条例制定と
議会活性化への取り組み

和歌山県かつらぎ町議会は、条例制定を目的に白老町議会、開成町議会など先進自治体で研修し、通年議会も併せて検討すべきではないかとの意見が出てきました。議会運営委員会を中心に十分な議論を重ね、平成26年から通年議会を採用し、平成28年6月に条例制定を議決しました。

説明を受ける中で、議会の活性化を図るためには、基本条例を制定し、議員の自己研さんと資質向上に努めるべきだと痛感しました。



予定時間を超えて意見交換をする委員

視 察 研 修

伊予消防等事務組合議会

◆聖浄苑の現状と課題

建設から33年が経過し、建物の老朽化による破損、経年劣化による空調、電灯及び変電設備等の故障並びに排水浄化システムの故障等が度重なって発生し、その都度修繕対応しています。また、設置後30年以上を経過した火葬炉は既に更新を迎えており、保守メーカからも大規模な全面改修を指摘されています。

火葬は社会生活の中で必要不可欠であり、将来人口推計を踏まえた抜本的な対策を講じる時期にきています。火葬炉、付帯設備、建物等は、それぞれ耐用年数に乖離があり、部分的な改修を行い、建築物の耐用年数約15年間に維持管理していくことは、費用対効果の

市町別火葬状況 (体)

	平成28年	平成27年
伊予市	524	575
松前町	354	361
砥部町	209	244
合 計	1,087	1,180

面から非効率と考えます。火葬炉の大規模改修期限までの早期に施設全体の改築を計画し、併せて運営方法も検討すべきであるとの報告を受け、今回の視察となりました。

11月6日～7日
福岡県うきは市
「うきは市浄光苑」

伊予市、松前町、砥部町の首長他15人の関係市町組合議員が参加しました。



改良された収骨場

副組合長 佐川町長
砥部町からの事務組合議員
副議長 山口
議員 政岡 監査委員
議員 森永

視 察 研 修

伊予市外二町共有物組合議会

11月13日(木)14日
岡山県高梁市

昔ながらの町並みや家屋、史跡、銀山坑道などの保全を行い、自分の町の歴史を後世に伝えるとともに、観光地としての市の活性化にも役立てていました。

伊予市外二町共有物組合とは

旧大洲藩における郡中貯と称して救荒予備のため積み立てた共有財産の増殖、維持管理及び処分に関する事務を共同処理するため、伊予市、砥部町、松前町をもつて組織する組合。(規約より)
現在は駐車場として貸し出している。

〈組合の議会議員数〉

伊予市 14人

砥部町 6人 (広田地区1人)

松前町 2人

〈砥部町の組合議員〉

副議長 山口

議員 政岡 運営委員

議員 森永 監査委員

議員 佐々木(公)

議員 柿本

議員 橋本 (広田)

視 察 研 修

来 町

10月18日

山形県米沢市議会産業建設委員会の9人が、本町の※砥部ブランドマークプロジェクトについて視察研修に来町されました。

総務課職員による作成経緯について説明の後、質疑応答がありました。



※砥部ブランドマークプロジェクトとは

砥部町、砥部焼、七折梅組合、自然薯組合、地元企業などには、それぞれ独自のロゴマークなどが作られており、そのイメージが町をPRするものに繋がっていました。

そこで、それを見れば砥部をイメージできるという「ブランドマーク」を作成し、町内外に広く周知・発信することで、まちの活性化等に役立てようと考えた。

11月18日

佐賀県三養基郡町村議会議長会の9人が、本町の子育て支援事業、母子保健事業について、視察研修に来町されました。

子育て支援課と保険センターの職員による事業説明の後、活発な意見交換が行われました。



町財政をチエツク

12月定例議会にて、平成28年度の各会計決算は適切な処理がなされていることを認定しました。

審査する中で、各委員から町長はじめ各担当課に対し、様々な意見や要望が出されました。

【主な意見】

○昨年に引き続き、とべ温泉「湯砥里館」と坂村真民記念館の運営について、廃止、継続、民間委託なども含め方向性を提示すべきではないか。

○町税の徴収率が98・9%と県内2位であり、よく頑張っている。

○台風18号被災の教訓化や災害対応の基金も必要であり、今後も黒字を出し続けてほしい。

○町有林を間伐して、優秀な森林を育ててほしい。

○今までのやり方を継続することは大切なことだが、時代が大きく変化しており、町職員も発想の転換が必要ではないか。

○町の職員ができないから委託をするので、難しいとは思いますが、やはり委託料を減らす努力を。

○通学バスの運転手について、今は委託しているが、身分を町の職員にできないか。

高齢者に優しい町を

― 議会とまちづくりを語る会 ―

11月10日、中央公民館において11人の女性団体連絡協議会の皆さんと厚生文教常任委員会で、議会とまちづくりを語る会を開催。

●高齢者が利用しやすい施設を

Q 高齢者が自由に利用できる既存施設は。

A 大南の老人福祉センターや老人憩いの家である。

Q 総合福祉センター（仮称）に運動器具を備えてほしい。

A 児童館等との複合施設となるためスペースは限られるが、器具設置要望を伝える。

●施設維持管理費が財政圧迫

Q 施設の維持管理にかかる費用で財政を圧迫するのでは。

A 県下有数の健全財政を維持しており心配ないと思うが、今後ともチェックする。

●少子高齢化について

Q 空き家の活用など若い世代の移住・定住を促す施策は。



A 子育て用品購入費の助成事業を実施済み。町の人口は合併当時より1000人程度減少しており、空き家は395戸と調査結果が出ている。空き家を活用した移住・定住施策を検討する。

●交流人口の増加を

Q 土曜・日曜など町内を通過するだけの車が多いが対策を。

A 動物園やこどもの城などの観光施設は多いが、今後も施策を検討していく。

●ヘルメット購入費助成を

Q 高齢者や小学生へ自転車用ヘルメットの購入費助成を。

A 費用面から助成事業を実施はしない。

●議員定数

Q 議員定数の削減は考えないのか。

A 平成28年9月、特別委員会での審査を経て全議員による投票により、現状定数となった。

●芸術文化フェスタについて

Q 11月開催の芸術文化フェスタへの来場者が少なく、寂しい思いをした。各事業への町の力の入れ方に落差がある。来年度の開催では改善をお願いする。

A 秋の砥部焼まつりの会場変更が影響した。平成30年10月より中央公民館が大規模改修となり使用できなくなる。担当課へ伝

える。

●県道大平砥部線について

Q 国道379号線から坂村真民記念館への道路拡張工事を行っているが必要なのか。蔵など古いものを後世に残すことも大切なのではないか。

A 指摘の道路は県道で、拡張工事をしている。個人所有の土蔵について詳細は不明だが、住民の意見を大事にしたい。

●総合計画について

Q 計画にない施設が多く建設されているが、厳しいチェックを。継続してチェックする。

●公共下水道について

Q 麻生校区内整備に今後10年かかるが、施設老朽化による修繕費は賄えるのか。

A 計画の見直しも含め、議会として検討していく。

●その他

Q 近年、子どもの声がうるさいと苦情があるが。

A 子どもの頃がみんなあったの理解してほしい。

町内6業者による

砥部町建設業協会

発足

目的

会員相互の信義を重んじ、建設業を経済的、社会的及び技術的に向上させ、建設業の健全なる発展を図り、併せて公共の福祉の増進に寄与する。

これからの建設業のあり方、災害時など町との協力体制等について意見交換をしました。



(右から)

永木克治副会長、小泉智治会長、松永公一筆頭副会長
森永議長、山口副議長、松崎産建委員長

LED化で議場が明るくなりました！

旧



新



3月定例会

本会議
委員会

傍聴してみませんか

詳しくは議会事務局へ

☎962・2248

募集

議会とまちづくり
を語る会

町内の団体、グループ、
地域の皆さんからの応募を
お待ちしております。

編集後記

議会報を作ろうと、
今から十数年前に初編
集者として編集後記を
書いた記憶がある。私
は少々写真には自信が
あったので、写真を担
当した。

そして今回、議会報
の一員として最後にな
るのであるうと思う
と、これも何かの縁と
思いながら編集後記を
書いている。

今後も充分研さんし
て、わかりやすく多く
の人に読まれるように
努力していきます。

(広報委員 三谷喜好)

〈おわびと訂正〉

第51号の掲載に誤りがありま
した。「9月定例会」は「12月定
例会」の誤りでした。訂正し、お
わび申し上げます。

発行 砥部町議会
編集 議会広報常任委員会
印刷 岡田印刷株式会社

責任者 議長 森永茂男
愛媛県伊予郡砥部町宮内1392番地
TEL 089-1962-2248
FAX 089-1962-5473